

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2013-956(P2013-956A)

【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2011-133308(P2011-133308)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/70 (2006.01)

B 4 1 J 2/32 (2006.01)

B 4 1 J 3/36 (2006.01)

B 6 5 H 35/04 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/70

B 4 1 J 3/20 1 0 9 Z

B 4 1 J 3/36 Z

B 6 5 H 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月4日(2014.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テープを送りながら前記テープに処理を行う送り処理部と、
前記送り処理部の前記テープ送り方向下流側に配設され、処理された前記テープを切断する切断部と、

前記切断部の前記テープ送り方向下流側に配設され、前記テープを装置外部に繰り出す排出部と、

前記送り処理部と前記排出部との駆動を連動させる送り連動部と、を備えたことを特徴とするテープ処理装置。

【請求項 2】

前記送り処理部、前記切断部、および前記排出部を制御する制御部を、更に備え、
前記制御部は、前記テープに対する処理が完了したところで、処理された前記テープを切断すると共に前記テープの繰り出しを停止することを特徴とする請求項 1 に記載のテープ処理装置。

【請求項 3】

前記送り処理部は、送りローラーを有し、
前記排出部は、排出ローラーを有し、
前記排出ローラーは、その回転速度が前記送りローラーの回転速度と比べて高速となるように回転し、且つ前記テープの先詰まりを防止するように前記テープから所定以上の負荷が加えられると滑り回転することを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のテープ処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明のテープ処理装置は、テープを送りながらテープに処理を行う送り処理部と、送り処理部のテープ送り方向下流側に配設され、処理されたテープを切断する切断部と、切断部のテープ送り方向下流側に配設され、テープを装置外部に繰り出す排出部と、送り処理部と排出部との駆動を連動させる送り連動部と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この場合、送り処理部、切断部および排出部を制御する制御部を、更に備え、制御部は、テープに対する処理が完了したところで、処理されたテープを切断すると共にテープの繰り出しを停止することが好ましい。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

一方、送り処理部は、送りローラーを有し、排出部は、排出ローラーを有し、排出ローラーは、その回転速度が送りローラーの回転速度と比べて高速となるように回転し、且つテープの先詰まりを防止するようにテープから所定以上の負荷が加えられると滑り回転することが好ましい。